



【ご挨拶～サミットに寄せて～】

雪舟ゆかりの自治体が山口市に集い、第19回雪舟サミットが開催されますことを心からお祝い申し上げます。山口市長をはじめ、ご準備くださいました関係者の皆様には、多大な御尽力をいただきまして大変感謝しております。本サミットは、雪舟を通じた各市との連携により観光面などにおいても大変有意義な取組に繋がっているものと認識しております。今回のサミットが6市にとって実りある交流の場となり、相互の連携が一層深まるとともに、各市がそれぞれの個性や特徴をいかした魅力あるまちづくりにつなげる契機となることを願っております。



防府市長 池田 豊

【市の紹介】

防府市は、山口県のほぼ中央に位置し、瀬戸内海に面しており、古くから周防の国の国府として栄え、また交通の要衝として発展した歴史のあるまちです。昭和11年(1936年)8月に市制施行し、今年は市制施行85周年となります。現在、人口約12万人、面積189.37平方キロメートルです。主な観光地として、「防府天満宮」、「毛利博物館・毛利氏庭園」、「周防国分寺」、「東大寺別院阿弥陀寺」などがあげられ、中でも、日本で最初に創建された天神さまで、学問の神様、菅原道真公を祀った「防府天満宮」には特に多くの観光客が来られます。

その防府天満宮では、毎年11月に「御神幸祭(裸坊祭、天神おんな神輿)」が開催されており、秋の風物詩となっております。また12月には師走の恒例イベントである「防府読売マラソン大会」もあります。このように防府市には歴史的な建造物に加え、様々なイベントも実施されますので、見どころいっぱいの防府市に是非お越しください。

【雪舟とのつながり】

防府市には、雪舟の最高傑作の一つとも言われる国宝「四季山水図」が収蔵されている毛利博物館があります。毛利博物館がある「旧毛利家本邸」は、旧萩藩主毛利家の邸宅として大正5年(1916年)に完成し、平成23年(2011年)に重要文化財に指定されております。また、この邸宅がある25,000坪の広大な庭園は、丘あり、滝あり、せせらぎありと起伏に富んでおり、「毛利氏庭園」として平成8年(1996年)国指定名勝に指定されています。今年は、毛利元就公没後450年、毛利敬親公没後150年の節目の年であり、関連する企画展も毛利博物館において開催されました。山口県にある国宝10件のうち、毛利博物館には4件で7点あり、その一つが雪舟筆の「四季山水図」です。毎年、11月頃に開催されます特別展「国宝」では、四季山水図をはじめとする国宝や重要文化財を含む貴重な文化財が展示されます。加えて、庭園の紅葉が大変美しい時期ですので、是非、ご覧いただければと存じます。